

# 副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	都市整備部 (都市計画課)	
2 協議事項 (案件名)	防災都市づくりの推進について	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、東日本大震災以降、津波防災に取り組んできたが、大規模地震や近年頻発する水災害による都市の災害リスクについて詳細な分析・評価し、災害に強い都市づくりの推進が急務となっている。</li> <li>・大規模地震等による被災後の復興に多大な時間と労力を要していることから、国は「復興まちづくりのための事前準備ガイドライン(H30.7)」を公表し、市民の早期生活再建が可能となるよう復興事前準備の取組を求めている。</li> <li>・都市再生特別措置法改正(R2.6)により、立地適正化計画へ水災害対策を踏まえた「防災指針」の位置づけが示された。</li> </ul>	
4 検討経過・課題	<p>(検討経過)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に改定した都市計画マスタープランにおいて、復興事前準備の取組を含む都市防災の基本方針を位置づけた。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランで示した基本方針に基づき、具体の防災都市づくりを推進するため、様々な災害リスクの詳細な分析・評価により重点検討区域を選定した上で、防災・減災、復興事前準備の具体的な取組を示す計画立案が必要。</li> </ul>	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害リスクから市民の生命・財産を守るとともに、被災後の早期復旧・復興が可能となる防災都市づくりを推進するため、多様な災害に対応した防災・減災対策や復興事前準備の取組を示す「防災都市づくり計画」を策定し、合わせて立地適正化計画に「防災指針」を位置づける。</li> </ul>	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災都市づくり計画等の内容及びスケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 基礎データと被害想定との重ね合わせ、重点検討区域の選定</li> <li>令和5年度 防災都市づくり（基本方針、具体的施策）、復興事前準備（復興体制、手順、まちづくりの実施方針等）検討</li> <li>令和6年度 防災都市づくり計画策定、防災指針検討、復興訓練</li> <li>令和7年度 立地適正化計画に防災指針を位置づけ</li> </ul> </li> </ul>	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める	具体的内容
	<input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	他都市事例を調査し、具体内容について関係部局と調整の上、再度協議する。
7 その他		